

# 比較文化論

No. 32

日本比較文化学会 第36回全国大会発表抄録

於 北九州国際会議場

2014年6月14日(土)

日本比較文化学会

The Japan Association of Comparative Culture

〈提携学会〉

韓国日本文化学会

台湾日本語文学会

後援

北九州市

## 第 36 回日本比較文化学会全国大会

### 理事会関係者会議

日時：2014 年 6 月 13 日(金)

会場：北九州国際会議場 (31 会議室)

16:00-17:30 編集委員会

17:30-18:30 理事会

### 第 36 回全国大会

日時：2014 年 6 月 14 日(土)

会場：北九州国際会議場 (<http://www.convention-a.jp/>)

8:45 受付開始

9:15-10:00 総会 (途中で理事会をはさむ)

10:00-12:00 シンポジウム

12:00-13:00 昼食

13:00-16:30 研究発表

16:30-17:30 特別講演

17:45-19:45 懇親会

懇親会会場：フラミンゴカフェ (大会会場の道路をはさんで向いにある AIM の 2 階)

電話：093-513-7817

懇談会にご出席の会員は、5 月 26 日 (月) までに会費の振り込みをお願いいたします。

会費： 一般 5,000 円、学生・大学院生 4,000 円

振り込み先：ゆうちょ銀行 口座記号 01720-5 口座番号 73186

加入者名 日本比較文化学会九州支部

すべての教室においてパワーポイントが使用できます。パソコンはご自身のものをご持参ください。さらに接続トラブルに備えてパワーポイントのファイルを USB メモリに入れてご持参いただくと安心です。

## 午前のプログラム

### 【総会】

時間：9:15～10:00

会場：2階 国際会議室

### 【シンポジウム】

時間：10:00～12:00

会場：2階 国際会議室

テーマ：明るい未来社会構築のための比較文化的基盤研究に向けて

司会：砂川 典子（九州ルーテル学院大学准教授/日本比較文化学会九州支部）

- 1 大塚 良治（湘北短期大学准教授/日本比較文化学会関東支部）  
「夜行列車の活性化に向けた一試案」
- 2 落合 由治（台湾・淡江大学教授/台湾日本語文学会理事/  
日本比較文化学会中国・四国支部）  
「比較文化論の視点から見る台日CMの表現戦略」
- 3 佐藤 静（宮城教育大学教授/日本比較文化学会東北支部）  
「災害支援とコミュニケーション心の支援とコミュニティの再生・  
回復をめぐって」
- 4 金 賢廷（白石大学助教授/韓国日本文化学会）  
「日韓の言語行動の比較」

### 【昼食】

時間：12:00～13:00

\*向いにあるAIM2階の中央付近にも昼食のできるフードコートがあります。

## 午後のプログラム

### 【研究発表】

時間：13:00-16:30

会場：2階及び3階

### 【講演】

時間：16:30～17:30

会場：2階 国際会議室

講師：山口 実先生 (NGO 明日のアジアにかける橋九州代表)

タイトル： 経済危機や紛争時のサバイバル体験

元三井物産社員で商社勤務時代、L.A. 駐在時代にロバート・デニーロに空手の指導を行い、クエート駐在時代にはイラクによる侵攻で「人間の盾」となり、インドネシア駐在中には反スハルト大暴動の際、日本人会会長として邦人・華僑の保護に尽力。帰国後は焼酎ブームの火付け役となるなど、波乱万丈の人生を送っている。奥様は実力派ジャズシンガー。ペシャワール会会員、アームネスティ・インターナショナル日本会員。

### 【閉会式】

時間：17:30～17:35

会場：2階 国際会議室

### 【懇親会】

時間：17:45-19:45

場所：フラミンゴカフェ (大会会場の道路をはさんで向いにある AIM の 2 階)

【研究発表】

第1室 (2階 国際会議室)

司会：山内 信幸 (同志社大学 教授)

13:00-13:30

山崎 祐一 (長崎県立大学 教授)

「文化の比較を通じた英語学習の実践～小学校外国語活動における取組を中心に～」

13:30-14:00

橋尾 晋平 (同志社大学大学院文化情報学研究科博士前期課程)

「アカデミック・ディベートのライティング養成効果に関する一考察—論理的思考力の伸長と表現力の育成の観点から—」

司会：山崎 祐一 (長崎県立大学 教授)

14:00-14:30

伊藤 佳世子 (京都大学国際高等教育院 准教授)

「日本人学習者のアカデミック・ライティング指導の問題点—日本語から英語の逐次英訳から発信型英作への指導—」

14:30-15:00

木塚 恵子 (京都女子大学 非常勤講師)

「英語学習入門期に身につけさせたいカーピア・メディエーションの手法を参考に—」

司会：伊藤 佳世子 (京都大学国際高等教育院 准教授)

15:00-15:30

小笠原 真司 (長崎大学 教授)

「『あおげば尊し』再考」

15:30-16:00

山内 啓子 (神戸松蔭女子学院大学 准教授)

「『菓子』の特性とその表象 — 英国児童文学からの考察」

司会：山内 啓子 (神戸松蔭女子学院大学 准教授)

16:00-16:30

L. Dennis Woolbright (Seinan Jo Gakuin University, Professor)

林 裕二 (西南女学院大学 教授)

「Workshop: Haiku in English」

第2室 (2階 21AB)

司会：藤村 一郎 (久留米大学比較文化研究所 研究員)

13:00-13:30

川上 耕平 (西南女学院大学 非常勤講師)

「戦後アメリカにおける捕鯨観—日本との関係において」

13:30-14:00

黄 琬茜 (同志社大学大学院博士後期課程)

「台湾人から見た女性の新移民とその家族関係への印象に関する心理学的研究」

司会：川上 耕平 (西南女学院大学 非常勤講師)

14:00-14:30

山根 祥子 (九州大学大学院比較社会文化学府博士課程)

「アルフォンス・ドーデ作品の翻訳比較」

14:30-15:00

樋口 真己 (西南女学院大学 人文学部教育支援職員)

「シニア世代の社会参加活動についての考察 (2) —地域貢献活動と学習支援の仕組み—」

司会：佐藤 和博 (弘前学院大学 教授)

15:00-15:30

雄谷 進 (国際交流基金・日本語国際センター 専任講師)

「海外の大学における「ケースで学ぶ現代社会」授業展開へ向けて」

15:30-16:00

山内 由賀 (京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程)

「フランス第二帝政期における女子教育講座」

司会：大塚 良治 (湘北短期大学 准教授)

16:00-16:30

羅 曉勤 (台湾・銘伝大学応用日本語学科 准教授)

「海外インターンシッププログラムの実施効果及び問題点—インターンシップ生の観点から—」

第3室 (2階 21CD)

司会：北林 利治 (京都橘大学 教授)

13:00-13:30

梶原 雄 (同志社大学 嘱託講師)

「韓国におけるバイト敬語について—サービス業界の「敬語インフレ」を中心に—」

13:30-14:00

李 尚珍 (山梨英和大学 准教授)

「日本人の「朝鮮美論」に関する—考察—植民地期における柳宗悦と浅川伯教の「朝鮮美論」の比較を中心に—」

司会：梶原 雄 (同志社大学 嘱託講師)

14:00-14:30

董 莊敬 (台湾・文藻外国語大学日本語学科 副教授)

「日本における若年者の無縁化・社会的排除の視点からみた若年者のつながりの弱体化」

14:30-15:00

陳 志文 (台湾・国立高雄大学東アジア言語学科 副教授)

「日本語、韓国語及びベトナム語における2字漢語の基本語彙に関する研究」

司会：奥村 訓代 (高知大学 教授)

15:00-15:30

秋本 彩織 (九州大学大学院比較社会文化学府博士課程)

「将来世代への配慮義務のどのように基礎づけるか—日本の文化的伝統である「恩」に着目して—」

15:30-16:00

栗山 緑 (広島大学大学院総合科学研究科)

「日本人の「あし」の文化的多義性の総合的考察 - 日本人の歩容 -」

司会：雄谷 進 (国際交流基金・日本語国際センター 専任講師)

16:00-16:30

劉 爽 (同志社大学文化情報学研究科博士前期課程)

「日英中のダイクシス表現—共感的ダイクシスをめぐって—」

第4室 (2階 22)

司会:山下 明昭 (香川大学 教授)

13:00-13:30

劉 益帆 (同志社大学文化情報学研究科博士前期課程)

「役割語としての幼児語—成人の幼児キャラクターを中心に—」

13:30-14:00

公文 素子 (高知大学 非常勤講師)

「留学生用防災教育とやさしい日本語」

司会:公文 素子 (高知大学 非常勤講師)

14:00-14:30

佐藤 紀美子 (同志社大学日本語・日本文化教育センター 助教)

「合意形成の話し合いにおける日本語上級学習者の発話の特徴」

14:30-15:00

江 雯薰(台湾・淡江大学 准教授)

「現代日本語における傾向表現に関する—考察—「がち」「ぼい」「やすい」を中心に—」

司会:佐藤 紀美子 (同志社大学日本語・日本文化教育センター 助教)

15:00-15:30

キャンディー (同志社大学文化情報学研究科博士前期課程)

「依頼場面に見られる日本語話者とインドネシア語話者の断り表現—親しさの度合いに着目して—」

15:30-16:00

伊月 知子 (愛媛大学国際連携推進機構 准教授)

「『満洲国』における日本語教育とその目的に関する考察—当時の日本人教育関係者の投稿文を手がかりにして—」

司会:山根 祥子 (九州大学大学院比較社会文化学府博士課程)

16:00-16:30

施 信余(台湾・淡江大学 助理教授)

「遠隔接触場面における日本語母語話者と台湾人日本語学習者のインターアクション」



第5室 (3階 31)

司会：神崎 明坤 (西南女学院大学 教授)

13:00-13:30

孫 蓮花 (大連理工大学 副教授)

林 楽青 (大連理工大学 講師)

「大連の日本語景観に関する研究—ホスト社会の認識を中心に—」

13:30-14:00

蘇 文文 (同志社大学文化情報学研究科博士前期課程)

「日中若者が使うことばの表し方の違いについて—ネット用語を中心に—」

司会：藤山 和久 (熊本高等専門学校八代キャンパス 講師)

14:00-14:30

奥村 訓代 (高知大学 教授)

「ポートフォリオ式ノート使用と学習意欲の向上に向けて」

14:30-15:00

周 聖来 (マカオ旅遊学院 講師)

「日本人中国語学習者による日中同形語についての誤用と教学対策」

司会：八尋 春海 (西南女学院大学 教授)

15:00-15:30

はくしょうきょう  
白松 強 (九州大学大学院人間環境学府博士後期課程)

「中国における無形文化遺産保護の法的制定と整備—中日両国比較の視点から—」

司会：木田 悟史 (くらしき作陽大学 非常勤講師)

15:30-16:00

李 興雅 (同志社大学文化情報学研究科博士前期課程)

「日中会話におけるモダリティの対照研究—関与の表現機能をめぐって—」

16:00-16:30

江 秀姿 (台湾・銘伝大学 助理教授)

「『日中翻訳』授業に対する学習者の意識調査について—台湾の大学生の場合—」

第6室 (3階 32)

司会：砂川 典子 (九州ルーテル学院大学 准教授)

13:00-13:30

藤山 和久 (熊本高等専門学校八代キャンパス 講師)

「Joseph Conrad とアフリカーもう一つの「闇の奥」—」

13:30-14:00

中村 友紀 (関東学院大学 准教授)

「lex talionis のドラマツルギー：復讐劇の訴求力についての文化人類学的考察」

司会：中村 友紀 (関東学院大学 准教授)

14:00-14:30

木村 美里 (聖学院大学 特任助手)

「共有する自然美と文化遺産—オクタヴィア・ヒルにおける環境思想の継承をめぐって—」

14:30-15:00

木田 悟史 (くらしき作陽大学 非常勤講師)

「Mujina と貉—ラフカディオ・ハーン “Mujina” の翻訳をめぐって—」

司会：木村 美里 (聖学院大学 特任助手)

15:00-15:30

西 美都子 (摂南大学 非常勤講師)

「『シルヴィーとブルーノ』の登場人物に関する—考察」

司会：西 美都子 (摂南大学 非常勤講師)

15:30-16:00

横道 誠 (京都府立大学 講師)

「フレイザーの『金枝篇』(英語)とマンハルトの『森・畑の祭儀』(ドイツ語)——文  
体の比較——」

司会：横道 誠 (京都府立大学 講師)

16:00-16:30

白川 俊介 (九州大学大学院比較社会文化研究院 特別研究者)

「オーウェル『動物農場』の現代的意義について——「全体主義」をめぐって——」

第7室 (3階 33)

司会：林 裕二 (西南女学院大学 教授)

13:00-13:30

頼 衍宏(台湾・銘伝大学 助理教授)

「『和習』再考」

13:30-14:00

黄 如萍 (台湾・国立高雄餐旅大學応用日語系 助理教授)

「坂口安吾『能面の秘密』試論」

司会：近藤 俊明 (東京未来大学 教授)

14:00-14:30

林 裕二 (西南女学院大学 教授)

「万葉集の英語訳 (1940) の千首選択についての考察」

14:30-15:00

楊 琇媚(南台科技大学 助理教授)

「小島信夫『馬』論」

司会：佐藤 静 (宮城教育大学 教授)

15:00-15:30

曾 秋桂 (台湾・淡江大学日本語文学系 教授)

「ポスト 3・11 の村上春樹の文学的軌跡—『女のいない男たち』と『神の子たちはみな踊る』との比較を通して—」

15:30-16:00

岩松 文代 (北九州市立大学 准教授)

「箸・割り箸のグローバル化と日本の箸・割り箸文化—アメリカでみられる特徴をもとに—」

司会：岩松 文代 (北九州市立大学 准教授)

16:00-16:30

戸田 利彦 (比治山大学 教授)

「『気』の表現と文化の日本語文化論的研究の可能性  
—メランコリー系の『気』の慣用表現の意味用法を中心に—」

日本における若年者の無縁化  
-社会的排除の視点からみた若年者のつながりの弱体化-

董 莊敬 (台湾・文藻外国語大学 副教授)

日本では、1980年代まで「学校から職業への移行」がスムーズに行われていたが、1990年代以降には、そのシステムが崩壊してしまったがゆえに、スムーズに移行できない若年者が多数存在している。1990年代のバブル崩壊後、高失業率、就職氷河期の社会背景のもとで、フリーター、派遣労働、インターネットカフェ難民などの若年者の周辺労働力の肥大化、正規雇用を希望する者の就職難、就職非希望者の増加などといった社会問題が次々と浮かび上がってきている。

近年、日本において「社会的排除」、「無縁社会」、「若年者の無縁化」などの用語が世の中に広く喧伝され、社会的な関心が集まっている。労働生活から遠ざかっていく若年者は、社会とのつながりの希薄化、居場所とのつながりの希薄化によって、徐々に社会から排除されるようになった。日本における社会的排除に関する研究の多くは「貧困」「格差」「ホームレス」につながっている。だが、問題となるのは、社会的排除の原因と結果は連鎖のプロセスであり、労働からの排除、家族からの排除などによって「貧困」、「格差」、「ホームレス」という結果に導かれた結果論である。その結果論から考察した若年者の社会的排除は、若年者の社会問題の深層を捉えていないと思われる。また、若年者の社会的排除に関する書物は、労働、家族とのつながりという視点で論じられているものが多数を占めている。だが、「つながり」という概念は単に労働、家族の関係だけにとどまらず、より広義的で「社会参加」、「人間関係」、「社会生活全般」などの概念が内包されている。そこで、本報告は「若年者の無縁化」、「社会的排除」の視点から日本における若年者の「つながり」(社会的連帯)の弱体化を捉え、その実態を実証的なデータを用いて検討する。

キーワード：無縁化、社会的排除、つながり

比較文化論 No. 32

発行：

2014年6月14日

日本比較文化学会

本部事務局：

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部長谷部研究室内日本比較文化学会事務局

第36回日本比較文化学会全国大会準備委員会事務局：

803-0835 北九州市小倉北区井堀 1-3-5 西南女学院大学人文学部 八尋春海研究室

e-mail: yahiro@seinan-jo.ac.jp

印刷：

モリプリンティング株式会社

北九州市八幡西区穴生 3-11-5 TEL093-621-5314